

令和7年 富士山南東消防本部火災・救急・救助統計

市内の火災件数は17件、救急出動件数は2,285件

令和7年中に富士山南東消防本部管内で起きた火災・救急・救助統計を公表します。火災件数は46件で、昨年の53件から7件減少しました。

☎富士山南東消防本部総務課
972-5801

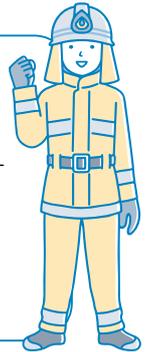


消防本部
ウェブサイト

【119番以外の問合せ先】

119番は火災・救急の専用電話です。その他の問い合わせには次のテレホンサービスを利用してください。

- 夜間・休日の当番病院 ☎983-0116
- 災害発生場所 ☎983-0105



■ 令和7年中の火災・救急・救助統計

	火 災	救 急	救 助
管内（裾野市・三島市・長泉町）	46件 (- 7)	9,873件 (-53)	131件 (-17)
うち裾野市	17件 (± 0)	2,207件 (-78)	33件 (+ 3)

() 内は前年比

■ 裾野市の火災統計

	火災種別件数
建物火災	6件 (- 1)
林野火災	0件 (± 0)
車両火災	7件 (+ 4)
その他の火災	4件 (- 3)
計	17件 (± 0)

() 内は前年比

■ 裾野市の救急統計

● 事故種別出動件数

急病	1,340件 (-51)
一般負傷	367件 (+ 2)
交通	111件 (-17)
その他	389件 (-12)
計	2,207件 (-78)

() 内は前年比

● 程度別搬送人員

死亡	21人 (+ 1)
重症	160人 (+ 7)
中等症	1,003人 (-63)
軽症	694人 (-15)
計	1,878人 (-70)

● 年齢区分別搬送人員

新生児（生後28日以内）	1人 (- 1)
乳幼児（生後29日以上満7歳未満）	81人 (- 9)
少年（満7歳以上満18歳未満）	90人 (+16)
成人（満18歳以上満65歳未満）	584人 (- 8)
高齢者（満65歳以上）	1,122人 (-68)

3月1日(日)～7日(土)は春季全国火災予防運動期間

電気火災対策に「感震ブレーカー」が有効です



火災が起りやすい時季を迎えるにあたり、火災の発生を防ぐため毎年3月1日から7日までの7日間、「春季全国火災予防運動」が実施されています。今回は地震による電気火災対策に効果的な感震ブレーカーを紹介します。

地震と電気火災の関係

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件です。そのうち過半数が電気関係の出火でした。

地震が引き起こす電気火災とは

電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災です。

感震ブレーカーとは

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める機器です。

